

## 糖尿病腎症重症化予防プログラム開発のための研究

研究分担者 植木 浩二郎 国立国際医療研究センター研究所糖尿病研究センター

### 研究要旨

分担研究者が主導した J-D0IT3 研究や大規模データベース J-DREAMS における腎症の発症・進展抑制のための治療法や治療目標を検討した。また、日本糖尿病学会・日本糖尿病対策推進会議の活動と本研究における糖尿病性腎症重症化予防プログラムの連携法を検討した。

### A 研究目的

これまでの糖尿病の臨床研究等における腎症の発症予防・進展抑制のエビデンスをもとに日本糖尿病学会や日本糖尿病対策推進会議の活動と連動する腎症重症化予防プログラムを構築する。

### B 研究方法

過去の臨床試験について、文献検索による腎症の発症・進展予防のエビデンスを収集する。また、現在、日本糖尿病学会や日本糖尿病対策推進会議が展開している糖尿病対策事業を調査して、それらと腎症重症化予防プログラムとの連携方法を検討する。

（倫理面への配慮）

J-D0IT3 や J-DREAMS 研究においては倫理委員会の審査を経て適切に行われている。本研究はその結果の解釈のみを行う。

### C 研究結果

J-D0IT3 においては、腎症 1 期あるいは 2 期の患者に対して、現行のガイドライン治療が腎症の発症・進展を強力抑制し、現在のガイドラインよりも厳格な血糖・血圧・脂質のコントロールをすることによってさらに有意に抑制されることが示された。また、J-DREAMS

の解析で、2 型糖尿病患者の腎機能障害の特徴を明らかにしつつある。

### D 考察

最近古典的経過を経ずに eGFR の低下を来すいわゆる Daibetic Kidney Disease(DKD)も多く認められるようになってきており、その病態は明らかでなく治療法は確立していない。今後 DKD の病態解明や治療法の開発が重要である。

### E 結論

J-DREAMS などの大規模データベースを用いて、Daibetic Kidney Disease を含めた病態・リスク因子の解明が重要である。また、既存の標準治療の普及も不十分で有り、日本糖尿病対策推進会議の活動なども活用した啓発活動が重要であると考えられた。

### F 健康危険情報

該当せず

### G 研究発表

1. 論文発表 Ueki K et al.: Effect of an intensified multifactorial intervention on cardiovascular outcomes and mortality

in type 2 diabetes (J-D0IT3): an open-label, randomised controlled trial. Lancet Diabetes Endocrinol 5:951-964, 2017.

2. 学会発表

J-D0IT3 植木浩二郎

第60回日本糖尿病学会年次学術集会

シンポジウム 2017 5. 20 名古屋

H 知的所有権の出願・登録状況

1. 特許取得

特に無し

2. 実用新案登録

特に無し

3. その他

特に無し